

大阪 保険医新聞

9/25
2011年第1086号
大阪府歯科保険医協会
発行人 志岐 敬
大阪府浪速区幸町1-2-33
電話(06)6568-7731(代表)
http://osk-net.org/
●定価・年間10,000円 月1,000円
●1977年5月23日第三種郵便物認可

「保険でよい歯科医療」

広がる署名 1万筆超

「できるところからやってみる」

協会が年内5万筆を目標に取り組んでいる「保険でよい歯科医療の実現を求める請願署名」(患者署名)の取り組みが広がりをみせている。署名が連日、協会に郵送で届き、9月20日現在で1万筆を超えた。署名は会内だけでなく、約70の団体・個人が協力に応じて、例年にないスピードで拡大している。

つながり生かし協力募る

署名は、①窓口負担の大幅軽減②保険給付範囲の拡大——を請願項目に、「保険でよい歯科医療」の実現を求めている。会員院所から続々と届いているほか、理事・役員らが個人のつながりを生かして積極的に集めている。9月からは事務局が会員訪問し、さらなる協力を訴えている。

歓迎してなかった医院でも「できるところからやってみよう」と早速、取り組み出した会員もいた。地区では歯科健診の際に受診者に署名を呼びかけている。婦人・高齢者団体や業者団体、労働組

『総会決定集』を発行



協会は、5月の総会で承認した2011・2012年度の活動方針をまとめた『第50回定期総会決定集』を発行する。今号に同封して会員に届ける。

協会運動を支える原点

理事長 小澤力

発行に当たり、小澤力理事長が活用を呼びかけている。

◇ ◆ ◆

日ごからの協会運動へのご理解・ご協力ありがとうございます。

総会では、協会の40年の歴史に学び、同時に東日本大震災、福島原発事

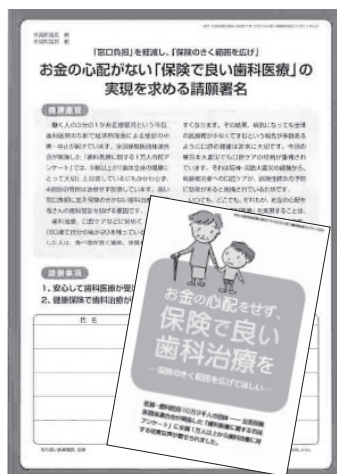
今号に同封『第50回定期総会決定集』『点数早見表』『公費請求の手引き』

絡ください。

診療報酬増へ 院長署名開始

協会は10日の理事会で、診療報酬改善などを求める院長署名に取り組みを決めた。協力率5割を目標としている。署名用紙は次号に同封して、会員の協力を募る。

院長署名の要請項目は、①患者窓口負担を大幅に軽減すること。新



三位一体で湾岸開発 破たんしてもなお続ける



今も埋め立てが進む大阪湾の夢洲(右)。左奥は舞洲(大阪市ホームページから)

大阪には「関西の宝石」と称される場所がある。人工島が集中する大阪湾ベイエリアだ。大阪市の平松市長と大阪府の橋下知事が2009年10月に2人で名付けた。きらびやかな言葉とは裏腹に、現地は売れ残った更地が広がっており、宝石箱の中身は空っぽだ。

ベイエリアは、1980年代後半に大阪市がWTCビル建設を含む「テクノポート大阪」計画を策定し、関西財界と一体で開発を推進してきた巨大プロジェクトの舞台だ。しかし、過大な需要予測やバブル崩壊などで計画が完全に行き詰まり、2003年にはWTC

その直後に、関西経済連合会と関西経済同友会、商工会議所の3団体は、「緊急アピール」を発表した。構想案を歓迎した上で、府と市にベイエリアなどの「残された課題の解決」を求めた。同年9月、橋下知事と

ダブル選挙

橋下府政・平松市政を検証

が巨額の負債を抱えて一次破たん。その後、現市政が08年に同計画の終焉を宣言するなど、負債の遺産」となった。

西氏がベイエリアを評価する背景には、破たんした湾岸開発を再始動する狙いがある。府と市が09年2月にWTCの売買を巡って基本合意すると、共同で「都市構想」(案)を発表。府庁移転を軸に「広域関西の戦略拠点」にすることを打ち出した。

「テクノポート大阪」計画が破たんすると、府庁移転を推進してベイエリア開発を先行する。大阪市・大阪府・関西財界という三位一体で進む時代錯誤の超大型公共事業「ベイエリア」。

府庁移転の失敗で再び行き詰まりを見せているものの、基本構想は依然、変わっていない。

湾岸開発が生み出したものは、使い道のない広大な埋め立て地と莫大な借金だ。「幻想の宝石箱」を求めてこのまま従来型の開発行政を進めるのか。選挙での選択が問われている。(つづく)

な患者負担増計画を撤回すること③診療報酬を引き上げること④社会保険診療報酬に対する税制を存続すること。消費税の増税をやめ、保険診療にはゼロ税率を適用すること④負担の範囲内に保険給付を制限する「社会保険個人会計」につながる共通番号制の導入をやめること——の四つ。

新規開業と医院継承 セミナーのご案内

10月8日(土)・9日(日)
「協同組合まつり」会場で開催
(マイドームおおさか2階)

- 【新規開業】※両日とも同じ内容
8日(土) 16時10分~18時10分
9日(日) 10時~12時
- 内容
- ①事業コンセプト(診療理念)
 - ②事業計画と資金計画(資金調達)
 - ③人事労務(採用・研修・トラブル対処法)
 - ④経営管理と増患(管理指標作成と分析)
- 【医院継承】
8日(土) 14時~16時
- 内容
- ①親子間継承=注意点と税務
 - ②第三者継承=事例から見る問題点
 - ③法人・個人継承=おさえるべきポイント
 - ④新規開業との比較=メリットとデメリット

講師：猪川昌史氏(日本医業総研・取締役)
定員：30人 参加費：無料
主催：協同組合・医科・歯科

歯界

本欄の執筆に際して「読売や朝日などに負けたくない」と言う誇大妄想とされそうである。だが、本紙の会員読者はそれら他紙と併読しているに違い無い。

一般紙が一般人を対象としているのに対して本紙の読者は主として大阪のドクターである。

スポーツ紙とは狙いが違つから競争にならないし、本紙は機関紙として会務執行の会員への伝達という使命があり、旬刊では速報性でも劣るが、コラムでは字数や日本語の制約の中の尋常の勝負である。

見識、独創性、品格だけでなくユーモアのセンスまで問われる。上からの目線も無負節な迎合も格好良くない。批判や賛同や、時には笑いを取れたり、真面目な時も悪ふざけもある。多様でない飽きられる。

会員読者のためにという言葉も陳腐である。どの新聞だって読者のために言う。「私にも一遍やらせろ」という声が聞けたらコラムニスト冥利だ。

紙面へのご意見や感想、投稿記事などを新聞部までお寄せください。紙面に掲載させていただいた場合は、図書カード3千円分を進呈いたします。
(郵送やファクスで、協会新聞部までお寄せください)